

# 年間指導計画

教科 家庭基礎		科目 家庭基礎		履修対象年次 1		単位数 2	
科目担当者 若海早苗 糸井直子 出原敬子 田村優加子 星野倫子							
身に付けられる力		人との一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術の習得。家庭生活の充実・向上に向けて工夫する能力実践的な態度					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学 期	4	4	1編 人とかかわって生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生を生涯発達視点で捉える力を高める。</li> <li>・男女が相互に協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について考察する。</li> <li>・青年期の課題を踏まえて、人の一生の営みとしての家族や家庭生活の在り方を創造する。</li> <li>・乳幼児の心身の発達と生活、親の役割と子どもの福祉について理解する。</li> <li>・高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について理解する。</li> <li>・子どもの健全な発達のために、親や家族、社会の果たす役割が重要であること、また、高齢者の自立生活を支えるために家族や地域・社会の果たす役割が重要であることを理解する。</li> <li>・自分の考えを他者と共有することで、考えを深める。</li> </ul>	基礎知識	目標設定力	生活実践力  生活を主体的に解決する力  コミュニケーション能力
	5	8	1章 自分らしい生き方と家族				
	6	8	2章 子どもとかかわる				
	7	4	3章 高齢者とかかわる				
	8		4章 社会とかかわる				
2 学 期	9	6	2編 生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養、食品、調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得。</li> <li>・被服材料・被服管理などに関する基礎的な知識と技術を習得。</li> <li>・住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得。</li> </ul>	基礎的・基本的な技術力	家庭生活の充実を図る力	コミュニケーション能力
	10	8	1章 食生活をつくる				
	11	8	2章 衣生活をつくる				
	12	6	3章 住生活をつくる				
3 学 期	1	6	3編 消費者として自立する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入の安定と支出の運営など家計の管理を理解。</li> <li>・消費者の権利と消費者保護に関する施策についての理解。</li> <li>・悪質な商法の問題点を理解。</li> <li>・現代の消費生活と環境とのかかわりについての理解。</li> </ul>	基礎知識	目標設定力	課題や問題を発見する力
	2	8	1章 消費行動を考える				
	3	4	2章 経済的に自立する				
合計時数		70					
教科書 副教材		家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍) 最新 生活ハンドブック資料&成分表 (第一学習社)					
評価の観点・方法		① 定期考査の状況 ②実習時の取り組みの状況 ③課題等の提出など,平常における授業への取り組み状況					
履修上の注意点		教科書・副教材を常に携帯すること					
特記事項等		なし					